

出前講座：モノ（こと）から考える SDGs

私たちが暮らしていくためには消費という行動が必要不可欠です。どこで誰によってどのように作られたモノ（商品）なのか？それはリサイクル可能な素材なのか？

一つのモノが私たちの手に届くまでに、素材の調達・製造過程・容器包装・配送等々様々な過程を通過します。国際理解、環境、エネルギー、防災、生物多様性、気候変動、世界遺産や地域の文化財等に関わる様々なつながりが見えてきます。私たちが毎日使うモノ、毎日とる行動。モノを購入し使うという行為がすべてにつながっているのです。ひとりひとりがきちんと学びモノや事の関係性を知ったうえで、暮らしていくことで未来が変わってきます。SDGsNO.12から高校生たちが学びあい、持続可能な未来の作り手として想い胸に進んでいく一助になればと思います。

◆講演タイトル ESD セミナー「SDGsNO.12 から見えてくる持続可能な未来」

- ①日程については、候補日の中から調整させていただきます。
- ②基本的には対面を希望しますがオンラインにも対応させていただきます。
- ③少人数でのグループワーク（クラブ活動や生徒会等）から基調講演（PTA等）まで多様な形態に対応させていただきます。
- ④所要時間は一コマ45分程度（WSを入れた場合は45分程度）ですがご要望により調整させていただきます。（スライドを使用し講演致します。）
- ⑤当面无料（10校／年程度まで）とさせていただきます。
- ⑥基本的に東北六県を対象とさせていただきます。

所属 NPO 法人 環境会議所東北 主任研究員

みやぎグリーン購入ネットワーク 事務局長／ESD コーディネーター

NPO 法人 水守の郷七ヶ宿 理事長 （尚絅学院大学 客員研究員）

海藤節生